

平成25年度 事業報告書

社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会

(執行体制)

1. 役員等 (平成26年3月31日現在)

役職名	人数
会長	1
副会長	2
理事	15 (会長・副会長を含む)
監事	3
評議員	37

2. 職員 (平成26年3月31日現在)

所 属	実職員数	内 訳	
		正職 (兼務)	臨時 (兼務)
事務局	2	4 (2)	
総務課	6	5 (1)	2 (1)
地域福祉課	9	9 (1)	1 (1)
介護保険課	2	5 (3)	
居宅介護支援事業所たかはし	2	3 (1)	
訪問介護事業所	7	8 (1)	
訪問入浴事業所たかはし	6	3 (2)	6 (1)
巨瀬デイサービスセンター	3	6 (6)	3 (1)
有漢支所	2	2 (1)	
成羽支所	4	2 (1)	2 (1)
グループホームささゆり苑	15	3 (1)	13 (1)
川上支所	2	2 (1)	
居宅介護支援事業所かわかみ	3	3 (1)	
川上デイサービスセンター	9	8 (2)	3 (1)
川上いきいき交流館	2	6 (4)	1 (1)
備中支所	2	2 (1)	
居宅介護支援事業所びっちゅう	3	3 (1)	
備中デイサービスセンター	10	5 (1)	5 (1)
合 計	89	79 (24)	36 (2)

(総括)

少子高齢化、過疎化の進行により、人口の減少に加え、一人暮らしや高齢者世帯の増加、集落の機能や地域コミュニティ機能の低下が急激に進行する中、高齢者、障害者等が地域で安心して暮らせるための福祉サービスが求められています。

これら課題に対応するため、地域住民や行政、各関係機関と協力して、地域における生活・福祉問題をみんなで考え、解決していく必要があります。

こうした状況を踏まえ、本社会福祉協議会では、地域福祉推進の中心的役割を担うため、地域福祉活動計画の基本理念に掲げた「みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし」を目指し、4つの基本目標とそれぞれに重点目標を掲げて、各事業の推進に努めました。

<基本理念>

「みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし」

～ささえあい・たすけあいのまちづくり～

[基本目標]

1. 地域で活躍できる人づくり
2. 手と手をつなぐ地域づくり
3. 地域を支える環境づくり
4. 安心して暮らせる体制づくり

まず、住民一人ひとりが地域社会の中で知恵と経験を生かし、地域福祉の担い手として自主的に活動できるよう、組織の充実や活動の場の提供を行うと共に福祉・ボランティアについては、夏のボランティア体験やボランティア研修会など、学習の機会を増やし、人材育成や福祉教育に取り組み「地域で活躍できる人づくり」の推進に努めました。

また、各地域で安心して暮らせるよう、ささえあい、たすけあって地域の福祉課題の把握と課題を解決するため、全町内会に福祉委員の選出依頼を行い見守り組織の充実に取り組みました。同時に市及び民生委員児童委員との連携による福祉委員・地区社協を中心とした小地域福祉ネットワークの構築に努めるとともに、各地域で福祉座談会を開催し、住民理解をいただきながら「手と手をつなぐ地域づくり」の実現を目指しました。

そして、広報紙、ホームページ等により社会福祉協議会の事業内容を周知するとともに職員の地区担当制度の導入により、地域課題の把握に努め、必要な方に必要な福祉情報を的確に提供するよう努めました。また、住民誰もが気軽に相談できる窓口対応を行い、「地域を支える環境づくり」を推進しました。

地域の人々が住み慣れた地域で自立して暮らせるように、市及び関係機関と連携し、地域

格差のない利用者本位の福祉サービスの提供に取り組みました。また、介護職員の資質を高め、充実した介護サービスの提供を行い「安心して暮らせる体制づくり」の推進に取り組みました。

また、監査委員による中間監査の実施や職員による内部指導監査を定期に実施し、事務事業の進行管理、事務改善に取り組むとともに、職員の外部研修や内部研修等を計画的に行い、職員の資質の向上に努めました。

以上、4つの基本目標をめざし、職員の資質の向上に取り組み、市民皆様方に地域福祉づくりの大切さを理解いただく努力を続け、「ささえあい・たすけあいのまちづくり」が日常的行われる相互支援の地域社会の実現に向け各施策に取り組みました。

[各事業の実施報告]

1. 法人運営

予算額 92,314千円

執行額 84,252,440円 執行率 91.3%

(1) 理事会、評議員会等の各種会議の開催（詳細別添参照）

- ① 正副会長会の開催 3回
- ② 理事会の開催 5回
- ③ 評議員会の開催 3回
- ④ 委員会の開催 6回（総務企画委員会 3回、社会福祉委員会 3回）
- ⑤ 支会運営委員会の開催 8回
- ⑥ 役員（監事）研修の開催 2回

(2) 会費制度の広報、普及による自主財源の確保

① 普通会员

各地区福祉委員連絡会総会において趣旨の説明を行い、市民皆様に理解と協力をお願いいただくよう依頼した。また、欠席された福祉委員に対し、自宅訪問し説明を行った。併せて、福祉委員を選出されていない町内会には、町内会長の自宅を訪問し、説明とともに協力依頼を行った。

② ふるさと会員

市外在住の方で、本市にゆかりのある方に対し協力依頼文書によりお願いした。

③ 法人会員

各法人宛に協力依頼文書を発送し、協力をお願いした。

- ④ 広報紙（ふれあい福祉）第49号では前年度の3月に会費協力をいただいた法人会員名と新年度の会費充当事業の計画について掲載、第50号では新年度の会費協力のお願いと前年度の会費充当事業の実績について掲載、第51号から第54号では会費協力をいただいた法人会員及びふるさと会員名を掲載した。

〈会費協力の状況〉

	H25		H24	
	人数・件数	金額	人数・件数	金額
普通会员	6,668人	7,043,000円	6,615人	6,976,000円
法人会員	277件	943,000円	246件	851,000円
ふるさと会員	82人	269,000円	86人	285,000円
特別会員	13人	65,000円	14人	70,000円
合計	7,040人（件）	8,320,000円	6,961人（件）	8,182,000円

(3) 役職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施（詳細別添参照）

- ① 計画的な職員の外部研修 1 2 回 （延べ3 5 人）
- ② 内部研修 1 回
- ③ 内部指導監査の実施 1 回

(4) 事務効率の向上及び経費節減のための事務改善

引き続き庁内ネットワークシステムを活用し、迅速な情報提供・共有による事務効率の向上とペーパーレスによる経費削減に努めた。

2. 企画広報事業

予算額 1, 8 6 1 千円

執行額 1, 8 4 3, 4 9 1 円 執行率 9 9. 0 %

(1) ふれあい福祉の発行

奇数月に広報紙を発行

発行月	主な内容
平成25年5月 (第49号)	平成25年度事業計画と予算、新理事・監事、評議員へ委嘱状を交付、赤い羽根まちづくり福祉活動事業、給食サービス事業について、会費協力のお礼と法人会員名、人事異動
平成25年7月 (第50号)	平成24年度事業・収支報告、財産目録、会費協力のお願い、シルバー人材センターについて、ふれあいサロン活動紹介、福祉委員連絡会を開催
平成25年9月 (第51号)	赤い羽根共同募金、ちょこっとお助けサービスについて、夏のボランティア体験事業、ふれあい福祉講座、ふれあいサロン活動紹介、訪問介護サービスの紹介、会費協力のお願いと法人・ふるさと会員名
平成25年11月 (第52号)	平成25年度高梁市健康福祉のつどい、敬老会について、赤い羽根共同募金について、秋の各種表彰、ふれあいサロン活動紹介
平成26年1月 (第53号)	ふれあいサロン活動紹介、全国社会福祉大会、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金について
平成26年3月 (第54号)	ふれあいサロン活動紹介、ふれあいサロン交流会を開催、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金実績報告、地域福祉活動計画について

(2) ホームページの更新、充実

社協の情報を迅速に提供するため、情報発信と内容の充実に努めた。

(3) 社協会長表彰

地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人、団体を、健康福祉のつどいにおいて表彰した。

	H25	H24
個人（人）	8	9
団体数	0	4

〈個人の部〉

表彰内容（所属団体名）	氏名
心身障害者福祉功労（特定非営利活動法人きらめき希望会）	藤森 昭博
社会福祉団体功労（高梁地区遺族会）	亀山千代子
社会福祉団体功労（鶴鳴東長寿クラブ）	松下 和祐
社会福祉功労（社会福祉法人高梁市社会福祉協議会 評議員）	小山 倉雄
社会福祉功労（社会福祉法人高梁市社会福祉協議会 監事）	荒田 祐吉
社会福祉功労（社会福祉法人高梁市社会福祉協議会 評議員）	丹治 勇
社会福祉功労（社会福祉法人高梁市社会福祉協議会 評議員）	中山 美江
社会福祉施設功労（老人保健施設ゆうゆう村）	佐久間 健

3. 地域福祉推進事業

予算額 30,221千円

執行額 27,518,316円 執行率 91.1%

(1) ふれあいのまちづくり事業

地域の人々が「横の連携」を密にし、福祉について理解を深め、互いに励まし支えあう福祉のまちづくりを推進した。

① ふれあい福祉講座の開催

高齢者、障害者等が地域で安心していきいきと暮らせるよう地域住民が福祉に対する理解を深め、「ささえあい・たすけあいの福祉のまちづくり」の推進を図るため福祉委員等の研修の場としてふれあい福祉講座を開催した。

	H25	H24
開催日	平成25年7月19日（金）	平成24年7月19日（木）
開催場所	高梁総合文化会館	高梁総合文化会館
参加人数	700人	700人

② 福祉委員連絡会の開催

○ 各地区福祉委員連絡会

各地区で総会を開催し、福祉委員の役割や社協の事業などについて説明するとともに、地域福祉活動への協力を依頼した。また、年度当初時期での総会の開催（15地区）を推進し、福祉委員活動の充実を図った。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
福祉委員数	370	33	91	101	84	679	676
福祉委員連絡会数	11	1	3	1	1	17	17

○ 福祉委員連絡協議会

福祉委員連絡会会長を対象に、各福祉委員連絡会相互の連携と総合的かつ効果的な地域福祉活動の推進を図るため福祉委員連絡協議会を年2回開催した。

- ・ 第1回／平成25年10月22日（火）／高梁総合福祉センター／16名
- ・ 第2回／平成26年3月7日（金）／高梁総合福祉センター／12名

○ 合同会議等の開催

福祉委員と民生委員との連携、情報交換の場づくり、地域福祉に関する情報交換や他の福祉関係団体との意見交換等を図るため合同会議の開催を推進した。

③ 福祉委員活動の充実

- ・ 「福祉委員活動のてびき」による活動の推進に努めた。
- ・ 福祉委員届出制を推進するとともに全福祉委員に対してボランティア活動保険へ加入し活動を補償した。また、請求のあった地区に対し福祉委員証を交付するなどし、福祉委員の位置づけの明確化に努めるとともに活動の充実を図った。

④ 健康福祉のつどいの開催

保健、医療、福祉、ボランティア活動に功労のあった方々を顕彰するとともに、保健福祉の認識を一層深め、21世紀の高梁市のすべての人々が健康で心豊かに生活できるよう「心のつながりを大切に 支えあい助けあう 安心のまちづくり」を目的に市との共催により健康福祉のつどいを開催した。

	H25	H24
開催日	平成25年10月12日（土）	平成24年10月13日（土）
開催場所	高梁総合文化会館他	高梁総合文化会館他
参加人数	1,100人	1,000人

- ・ 社会福祉協議会会長表彰
- ・ 囲碁、将棋、ゲートボール、グラウンドゴルフ大会の実施

⑤ 地域福祉推進部門強化・充実事業への取り組み（新規事業）

平成25年度から2年間、岡山県社会福祉協議会が実施する地域福祉推進部門強化・充実事業に取り組み、川面・松原地区をモデル地区とし、福祉委員活動の充実に努

めた。

⑥ 福祉委員未選出町内会への選出依頼（新規事業）

福祉委員が未選出の町内会について、町内会長宅を訪問するとともに町内会総会等へ出席し、福祉委員の選出をお願いした。

⑦ 県内外社協等との交流

視察を積極的に受入れ情報交換による地区社協及び福祉委員活動の活性化を図った。

・ 地区社協関係 2件

受入地区	来訪団体
松原地区社会福祉協議会	中和地区社会福祉協議会（真庭市）
川上地区社会福祉協議会	美星明治地区社会福祉協議会（井原市）

・ 福祉委員関係 1件

受入地区	来訪団体
高梁市社会福祉協議会	広島市安佐南区社会福祉協議会（広島県）

（2）ふれあい相談事業

高齢者等の日常生活における心配ごと等について相談に応じ、社会資源を活用して適切な助言及び支援を行うことにより、自立の支援を促進した。相談は、民生委員児童委員、身体障害者相談員等の協力を得て実施した。

① 定例相談（高梁総合福祉センター）

第1木曜日 身体障害者相談

第3木曜日 高齢者サービス、心配ごと相談

② 随時相談（各社会福祉協議会事務所） 福祉総合相談

	H25	H24
開催回数	23回	24回
職業生業	0	0
離 婚	0	0
家 族	0	0
教 育	0	0
人権法律	1	1
生 計	1	0
住 宅	2	1
医 療	0	2
生 活	7	5
そ の 他	1	3
計	12	12

(3) 地域福祉活動事業

① 地域福祉活動計画の推進

平成25年4月に開催した第5回地域福祉活動計画策定委員会で計画の内容を検討し、平成25年5月の理事会・評議員会で計画の承認が行われ、事業の推進と地域福祉活動計画を推進するため、冊子及びダイジェスト版を作成し、福祉委員を通じて、ダイジェスト版を全戸へ配布し、社会福祉協議会の活動に対して理解を図った。

○ 住民座談会の開催

<目標> 15地区で開催

地区社会福祉協議会の範囲を対象に、平成26年1月から2月の期間にかけて住民座談会を市内15か所で開催し、住み慣れた地域での生活、福祉課題、ニーズを把握するとともに、地区社会福祉協議会に対し、地域の福祉課題等の問題提起を行い、福祉活動の推進を図った。(参加者 418名)

② 地区社協の支援

○ 地区社協支援

地域に根ざした特徴的な地域福祉活動を推進することにより、ささえあいたすけあいの住みよい地域社会の実現に向け支援に努めた。

○ 地区社協との連携

総会等において、社協が実施している事業について紹介するとともに、情報交換等により地域福祉の推進に向け連携強化を図った。

○ 活動費の交付

前年度寄付金合計額の半額を、地区社協へ活動費として上期(5月)、下期(11月)に分け交付し、活動の支援を行った。

	H25	H24
交付地区社協数	13地区社協	13地区社協
交付金額	5,846,000円	6,514,000円

○ 地区社協の代表者等による連絡会の開催(新規事業)

高梁市社会福祉協議会と各地区社会福祉協議会が連携・協働し、安心安全な地域づくりの推進を図るために会議を開催し、事業説明や情報交換を行った。

平成25年10月2日(火) / 高梁総合福祉センター / 参加者25名

③ ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきとした生活を送ることができる相互システムを身近な範囲に構築し、住民の福祉意識の向上を図るために事業に取り組んだ。

- ・ 福祉委員連絡会総会やふれあい福祉講座等で周知するとともに、広報紙で申請募集、制度や事例の紹介の記事を掲載するなどの広報を行った。

- ・新たなサロンの立ち上げや年度更新申請の相談、事業計画の作成、情報提供等の支援など地域住民が事業に取り組みやすい環境整備に努めるとともに要望に応じ職員を派遣し支援を行った。

	H25	H24
講師出向	13件	8件
相談対応	94件	47件
内 訪問	7件	12件
来所	54件	33件
電話	33件	2

- ・サロン相互の意見交換や活動状況を把握するとともに、新たな知識の習得により更なる活動の活性化を図るため、サロン代表者を対象とした交流会を開催した。（新規事業）

平成26年2月26日（水）／高梁総合文化会館レクチャールーム

／参加者65名

<目標> 助成件数110件

<ふれあいサロン助成件数の状況>

	前年度 a	継続 b	廃止 c	新規 d	H25 a-c+d
助成件数	100	90	10	17	107

<助成金の支給状況>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
交付決定数	68	8	10	10	11	107	100
内 5町内	54	7	6	5	8	80	75
内 大字単位	7	0	4	4	2	17	18
内 町単位	7	1	0	1	1	10	7
内 年4・5回	0	0	0	0	0	0	0
交付決定額	2,560,000	310,000	460,000	420,000	330,000	4,080,000	3,714,000

- ・各種会議等で事業周知に努め、新規サロン団体が17件あったが、一方で、サロンリーダーの後継者不足等から、廃止が10件あった。

④ ちょっとお助けサービス事業

行政が実施する軽度生活支援事業の補完事業として、身近でちょっと困るが自分ではできないような困りごとに対するサービスを提供した。制度周知による相乗効果が現れている軽度生活援助事業との調整を図りながら事業を推進した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
利用対象者数	23	0	1	0	2	26	8
利用実人数	6	0	1	0	2	9	4
延利用人数	21	0	3	0	6	30	25

⑤ 地域福祉活動団体支援

ふれあい給食実施団体に対して支援及び助成金を支給した。（支援団体7団体）

⑥ 在宅要介護者調査及び慰問金配付業務の委託（民児協）

高梁市民生委員児童委員協議会に、社会福祉協議会自主事業実施に係る調査業務等を委託し実施した。

⑦ 車両貸出事業

福祉団体等の活動に対して、自動車の貸し出しを行い、福祉活動の支援に努めた。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
貸出件数	22	3	0	1	2	28	32
内 サロン団体	7	0	0	1	0	8	7

(4) 老人福祉事業

① 敬老祝い品（米寿写真等）贈呈事業

満88歳の高齢者に対して、肖像写真を撮影し、敬老の日を中心に、福祉委員の協力を得て贈呈を行った。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
該当者数	200	21	58	48	45	372	509
贈呈者数	148	13	39	38	38	276	331
贈呈率	74.0	61.9	67.2	79.1	84.4	74.19	65.0

② 敬老事業の市からの受託及び自主敬老事業の実施

永年にわたり地域社会に尽くした高齢者の長寿を祝い実施する敬老事業の開催を推進し、祝老意識の高揚を図った。

<目標> 敬老会参加助成 1,900人分

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
交付団体数	31	1	11	6	13	62	48
75歳以上人数	930	201	271	183	340	1,925	1,416
88歳人数	99	20	29	18	38	204	156
延対象人数	1,029	221	300	201	378	2,129	1,572
交付決定額	1,543,500	331,500	450,000	301,500	567,000	3,193,500	2,358,000

・ 広報紙の活用や各種会議の中で事業の周知を図り、目標を達成した。

③ 老人クラブ事務支援

高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの事務を支援した。また、先進地である新見地区老人クラブ連合会へ視察に行き、情報交換を行うとともに、クラブ役員と協議しながら自主的な運営に対する支援を行った。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
会 員 数	1,923	303	1,058	650	559	4,493	4,628
単位クラブ数	15	8	17	9	13	62	62

④ 日常生活用具貸出事業

虚弱等の理由によりベッド等の介護用品を必要とする方へ無料で用具を貸し出すことにより日常生活の支援を行った。

生活用具：特殊ベッド、車椅子

	H25			H24
	保有台数	延貸出件数	貸出可能台数	延貸出件数
特殊ベッド	23	25	16	39
車 い す	48	64	45	68

(5) 生活福祉資金貸付受託事業

岡山県社会福祉協議会から事業を受託し、生計困難で必要な資金の融資を他から受けることができないことにより資金を必要とする方に、必要な資金の貸付を行い、自立更生の支援を行うとともに償還の援助指導を行った。

○ 相談窓口の統合

相談窓口を統合し、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応体制の構築を図った。

	H25	H24
新規貸付件数	0	2
償還済件数	2	3
貸付中件数	10	12

(6) 障害児・母子・児童福祉事業

福祉活動団体の一層の活性化と地域福祉推進のため、障害者スポーツ大会等の支援を行った。

	H25	H24
障害者スポーツ大会等助成金支給件数	1	1

(7) 災害福祉活動事業

① 災害見舞金支給

自然災害又は火災により、現に居住している住宅等の建物に被害を受けた世帯に対し、見舞金又は死亡弔慰金を支給した。

② 被災家屋等復旧費助成金支給

自然災害又は火災により、住宅等の建物に被害を受けた世帯の生活不安の解消及びお互いに助け合う地域づくりのため、福祉委員が関わり地域住民等による復旧活動を実施した場合に、復旧費の一部を助成する制度の周知に努めた。

	H25	H24
災害見舞金支給件数	26件 高梁7件、成羽7件、 川上9件、備中3件 ※9月2～4日発生集中豪雨21件	23件 高梁13件、有漢5件、 川上1件、備中4件 ※7月6日発生集中豪雨20件
火災見舞金支給件数	2件（高梁1件、備中1件）	1件（成羽）
死亡弔慰金支給件数	2件（高梁1件、備中1件）	0件
被災家屋等復旧費助成金支給件数	0件	0件

4. 在宅福祉サービス事業

予算額 107,395千円

執行額 104,932,877円 執行率 97.7%

(1) 移送サービス受託事業

高齢者や、障害者の方の社会参加及び生活支援のために自動車ドア・ツー・ドアによる移送サービスを行った。また、安全運転に関する講習会や適性検査を開催し、安全運行にの徹底に努めた。

<目標> 登録会員数 330人 延利用回数 4,700回

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
移送車両数	9	3	3	4	6	25	25
運転ボランティア数	16	9	10	14	27	76	71
会員数	117	51	60	37	65	330	333
一般移送数(延)	460	268	237	74	238	1,277	1,293
透析移送数(延)	1,496	190	271	1,198	349	3,504	2,845
難病移送数(延)	90	0	0	21	0	111	98
移送利用計	2,046	458	508	1,293	587	4,892	4,236

- 福祉委員や民生委員児童委員を対象とした会議での事業周知及び透析移送の利用者増加により目標を達成することができた。

〈安全運転講習等の開催〉

		高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
受講対象運転者数		16	9	10	14	27	76	71
受講者	交通安全講習会	9	5	4	7	11	36	38
	運転適性検査	7	4	3	6	6	26	22
	計	16	9	7	13	17	62	60

① 移送車輛の更新

安全運行の確保のため車両（軽四自動車助手席回転シート仕様車（660cc））1台の更新整備を行った。

② 高梁市福祉運転ボランティアの会及び各支部の事務支援

(2) 軽度生活支援等受託事業

① 軽度生活支援員（シルバー人材センター会員）の派遣

日常生活を営むのに支障のある高齢者に、庭周辺の手入れ等、介護保険サービスにはないサービスを提供した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
実人数	15	0	0	0	1	16	10
延回数	67	0	0	0	16	83	69

○ 提供体制の整備（新規事業）

利用者のアセスメントやニーズ把握に努め、ちょこっとお助けサービスとの調整、連携を密にするなどによりサービス提供体制の整備を図った。

② 生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣

日常生活を営むのに援助が必要な高齢者世帯に、日常生活に関する支援、家事援助等の福祉サービスを提供した。

	H25	H24
実人数	25	33
延回数	930	1,074

(3) 生きがい活動支援受託事業

介護予防、自立支援のため日常動作訓練や趣味活動等の各種サービスを提供するとともに、指定管理施設の適切な管理運営に努めた。

	高梁	川上	備中	H25	H24
実施回数	151	185	38	374	381
利用延人数	2,875	2,000	697	5,572	6,059

① ミニデイ、生きがいデイサービス提供

○ ミニデイサービス：高梁地区の各市民センター等で実施

事業実施に関わるボランティア団体代表者による合同会議等を開催し、情報提供及びボランティア相互の情報共有を図った。

平成25年8月6日（火）／高梁総合福祉センター／参加者21名

○ 生きがいデイサービス：川上及び備中で実施

② 備中高齢者生活福祉センター指定管理施設の管理運営

③ 川上いきいき交流館指定管理施設の管理運営

(4) 給食サービス受託事業

一人暮らしの高齢者、身体障害者等で調理が困難な世帯に、宅配による食事の提供を行い、あわせて配食ボランティアによる安否確認を実施した。

○ 事業実施に関わるボランティア団体代表者による合同会議を開催し、情報提供、情報交換の場を提供した。また、住民座談会等の機会を捉え、給食サービス無配地区等に対し事業とボランティアの必要性について説明を行った。

・ 配食ボランティア代表者会議の開催（新規事業）

各地区の代表者が一堂に会し、情報提供及び情報交換等によりボランティアの育成と更なる活動の活性化を図るために会議を開催した。

平成26年1月20日（月）／高梁市文化交流館／参加者31名

<目標> 延28,000食

	高梁 週4回 月火木土	有漢 週1回 水	成羽 週3回 月水金	川上 週3回 月水金	備中 週1回 木	H25	H24
利用実人数	109	42	67	35	38	291	263
延食数	11,931	1,281	5,914	2,961	1,568	23,655	22,595
配食ボランティア数	250	80	11	165	48	554	560

・ 各種会議等での事業周知に努め、実利用人数は増加したが、給食無配地区の解消及び実施回数については、改善できず、延食数についても23,655食にとどまった。

(5) 寝具洗濯乾燥消毒サービス受託事業

寝具の衛生管理が困難な方に対し、年間2回、ふとん等の洗濯、乾燥、消毒のサービスを年2回提供した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
利用実人数	68	20	24	10	28	150	148
利用延件数	102	28	40	16	41	227	218

(6) 遺族への援護

高梁市遺族連合会への事務支援を行うとともに助成金を支給した。

5. 共同募金配分金事業

予算額 5,749千円

執行額 5,749,000円 執行率 100%

(1) 一般募金配分金事業

住民相互のたすけあいを基調とし、地域福祉の推進を目的とした助成団体について、共同募金社協配分金の範囲内において助成金を支給した。

○ 対象団体

高齢者、身体障害者、児童関係福祉団体、ボランティア団体、地域福祉活動団体等

○ 助成金の決定方法等

社会福祉協議会理事会で審議するなど透明性を図るとともに、交付団体の意識を促すため平成25年7月19日に交付式を開催し、交付団体に対して貴重な浄財の有効活用と共同募金運動への積極的な参加と協力の周知を行った。

区分	H25		H24	
	件数	金額	件数	金額
高齢者、身体障害者等、児童活動助成金件数	22	1,150,000	21	1,144,000
ボランティア団体活動助成金件数	9	417,000	9	416,000
地域福祉活動助成金件数	14	1,613,000	14	1,670,000
計	45	3,180,000	44	3,230,000

(2) 歳末たすけあい配分金事業

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう個人及び歳末たすけあい運動の趣旨に添った団体の活動に対し助成を行った。

個人対象：在宅要介護者、難病者等

団体対象：ボランティア団体、福祉団体

区分	H25		H24	
	件数	金額	件数	金額
在宅要介護者慰問金件数	143	858,000	148	888,000
難病者等慰問金件数	142	852,000	119	714,000
ボランティア団体、福祉団体活動助成(団体)件数	13	859,000	13	881,000
計	298	2,569,000	280	2,483,000

6. 地域福祉活動基金

予算額 142千円

執行額 98,909円 執行率 69.7%

地域住民が共に助け合い励まし合い支え合う地域福祉活動の促進を図り、安心して安全な福祉社会づくりに資することを目的とした基金（2億円）の果実をボランティアセンター活動事業に繰出し事業を実施した。

7. ボランティアセンター活動事業

予算額 1,992千円

執行額 1,824,954円 執行率 91.6%

ボランティア活動の振興を図るため規程の改正を行い、ボランティア団体等の情報の把握に努めるとともに市内小・中・高校、教育委員会と連携し、福祉教育の推進を図った。

① ボランティア登録事務及び斡旋

ボランティア活動に興味のある個人又は団体のボランティアセンターへの登録及びボランティア要望のある団体等にセンター登録団体等を斡旋した。

<目標> 登録人数 5,000人

	種別	H25登録者・団体数	H24登録者・団体数
登録状況	個人	24人	21人
	団体	87団体 (3,312人) 内 76団体 (1,596人) V0団体 11団体 (1,716人) 協力団体	88団体 (4,114人) 内 71団体 (1,206人) V0団体 17団体 (2,908人) 協力団体
相談斡旋		相談件数14件	相談件数12件
		内 斡旋延件数 4団体 (学校へ)	内 斡旋延件数 3団体 (学校へ) 7団体 (福祉施設へ)

- ・ ボランティア研修会や住民座談会で、ボランティア登録についての説明を行い、87団体の登録があったが、登録人数については、登録団体の構成が変わったことから、3,312人となった。

② 学童、生徒のボランティア活動普及（ボランティア協力校）助成金支給

学童、生徒の社会福祉への関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養いボランティア活動の推進と啓発を図るために、市内の小学校、中学校、高等学校をボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行った。

<目標> 指定校10校

・指定校10校

小学校／津川、川面、中井、松原、有漢東、川上、西山

中学校／高梁東、有漢、川上

- ・市教育委員会と連携し、各学校に対し、指定希望のアンケート調査を実施し、指定希望のあった学校10校を協力校として選定した。

③ ボランティア活動保険料助成金支給

地域における福祉活動及びボランティア活動の一層の推進を図るため、高梁市社会ボランティア福祉協議会ボランティアセンターに登録し、市内を中心に活動を行っているボランティア団体の活動保険料の2分の1（上限150円）を助成し、地域における福祉活動及びボランティア活動の一層の推進を図った。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
団体数	38	4	12	19	7	80	78
助成人数	1,516	131	84	211	122	2,064	2,125

④ 福祉団体、ボランティア団体活動費助成金支給

市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の一部を助成し、福祉活動団体、ボランティア活動団体の一層の活性化を図った。

	H25	H24
福祉団体	1	1
ボランティア団体	2	2
計	3	3

⑤ 夏のボランティア体験事業の開催

市内に在住又は通学している中学生、高校生、大学生を対象に社会福祉について理解を深めるとともに、ボランティア活動に積極的に参加する機会を提供しボランティア活動の意識の高揚を図った。

- ・事前研修会の開催
- ・体験活動
- ・事後研修会の開催

<目標> 参加者 230人

事項	種別	H25	H24
事前研修会	開催日	平成25年7月13日（土）	平成24年7月14日（土）
	参加者	学生 193人	学生 199人
		受入施設 29人	受入施設 31人
体験活動	活動期間	7月から8月の夏休み期間中	7月から8月の夏休み期間中
	体験施設	市内26施設	市内23施設
		3ボランティア団体	3ボランティア団体
事後研修会	開催日	平成25年8月26日（土）	平成24年8月25日（土）
	参加者	学生 169人	学生 160人
		受入施設 16人	受入施設 15人

- ・ 市教育委員会と連携し、事業周知に努めたが、事業実施時期が中体連等の行事と重なることから参加人数は表のとおりとなった。

⑥ ボランティア団体研修会、交流会の開催

ボランティアの研修会を開催し、ボランティア活動の活性化に努めた。

<目標> 年2回開催

	開催日・場所	H25参加者数	H24参加者数
ボランティア研修会	平成26年1月20日（月） 高梁市文化交流館	300	150

- ・ 市の防災訓練との合同開催を調整したが、9月に起きた大雨災害のため事業実施には至らなかった。

⑦ 出前福祉講座（高齢者疑似体験、車椅子体験等）の実施

福祉の心を育てるため、ボランティア団体等と連携を図り、市内の地域に出向き福祉に関する講座（高齢者疑似体験、車椅子体験、手話体験、福祉講座等）を教育機関との連携により実施した。

<目標> 25回以上

	H25実施回数	H24実施回数
高齢者疑似体験	8	3
車いす体験	1	2
手話体験	4	11
講座	1	0
計	14	16

- ・ チラシを作成し、市教育委員会と連携し、校園長会・教頭会等で事業周知に努めたが、実施回数は14件にとどまった。

⑧ 市内ボランティア団体で構成する連絡会の発足

個別のボランティア会議（運転ボランティア、ミニデイサービスボランティア、配食ボランティア）を開催し、活動の充実強化を図った。

⑨ 被災地域への職員派遣

大雨災害のあった山口県萩市災害ボランティアセンターに職員1名を派遣し、災害ボランティア活動に対しての理解を図った。

派遣期間／平成25年8月21日（水）～平成25年8月24日（土）

8. 福祉サービス利用援護事業

予算額 7,098千円

執行額 7,004,672円 執行率 98.7%

(1) 日常生活自立支援事業

岡山県社会福祉協議会からの受託事業として、認知症等により、金銭管理、福祉サービスの利用手続き等に不安がある方を対象に利用契約し、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスの利用手続きなどの支援を行った。なお、利用に関する相談への対応や利用契約の締結までを専門員が行い、契約後は、各地域の生活支援員が利用者宅を訪問するなどして支援を行った。

○ サービスの種類

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等預かりサービス

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
利用実人数	5	0	2	1	3	11	12
支援員数	4	2	1	2	3	12	11

9. 資金貸付事業

予算額 3,003千円

執行額 1,900円 執行率 0.1%

(1) 福祉資金貸付事業（無利子）

低所得者及び障害者への資金の貸付による自立支援（無利息）として事業展開し、新規の資金貸付実績がなかったものの償還指導を行った。

○ 資金種別

生活福祉資金貸付生活福祉資金貸付（貸付限度額10万円）

出生、死亡、疾病等一時的資金貸付（貸付限度額20万円）

○ 相談窓口の統合

相談窓口を統合し、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応体制の構築を図った。

	H25	H24
新規貸付件数	0	1
償還済件数	0	0
貸付中件数	5	5

10. 介護保険事業

予算額 260,743千円

執行額 252,865,234円 執行率 97.0%

介護保険事業は、高齢者の尊厳を保持し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、事業に関する加算の見直し等により効率よい運営に取り組んだ。

(1) 居宅介護支援事業

① 介護サービス及び介護予防サービスのケアプラン作成

要介護又は要支援状態になった場合でも、利用者が可能な限りその居宅において、日常生活を営むことができるように、居宅介護サービスの計画を作成し、介護サービスの提供が確保されるように各サービス事業所等への連絡調整を行った。

○ 川上、備中は、主任ケアマネの配置を行い、特定事業所として実施した。

② 要介護認定調査

介護保険要介護更新認定、要支援更新認定申請者に対して、市の代行で、心身の状況を調べるために、本人と家族などから聞き取り調査を行った。

<目標>

	高梁	川上	備中	合計
要介護支援延回数	1,068	1,332	1,260	3,660
予防介護延回数	252	24	120	396
介護認定調査延回数	50	68	75	193

<実績>

		高梁	川上	備中	H25	H24
要介護支援	実人数	94	129	147	370	390
	延回数	879	1,263	1,245	3,387	3,537
予防介護	実人数	25	11	19	55	52
	延回数	215	83	151	449	383
延回数計		1,094	1,346	1,396	3,836	3,920
介護認定調査	延回数	61	78	88	227	186

- ・ 高梁 ケアマネジャー2.5人を平成26年度より2人体制にするため、経過的措置として、目標達成には至らなかった。

- ・ 川上 予防介護延回数については、目標達成することができたが、要介護支援延回数については、上半期は毎月新規利用者があったが、下半期は新規利用者がなかったため、目標達成には至らなかった。
- ・ 備中 事業周知に努めるとともに、関係機関等と連携し、概ね目標を達成することができた。

(2) 訪問介護事業

- ① 介護保険利用者への指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護サービスの提供
ホームヘルパーが居宅を訪問し、調理や掃除、洗濯、買物等の家事援助及び入浴、食事、排泄等の身体介護の生活援助を行った。
- ② 障害者総合支援事業利用者への居宅介護サービスの提供
障害者（児）が地域で安心して暮らせるよう、ホームヘルパーが居宅を訪問し、身体介護及び家事援助を行った。
- ③ 移動支援の提供
1人で外出できない障害者（児）等が、社会参加活動のために外出する場合、介護員が移動の支援を行った。

<目標>

種類	利用延回数
介護保険 訪問介護	10,000
介護保険 予防介護	4,800
障害者総合支援 居宅介護	1,200
移動支援	12

<実績>

			H25	H24
介護保険	訪問介護	実人数	147	164
		延回数	8,403	9,692
	予防介護	実人数	87	90
		延回数	3,973	4,074
	延回数計		12,376	13,766
	障害者総合支援	実人数	14	14
居宅介護		延回数	1,280	1,139
移動支援	実人数	1	2	
	延回数	36	27	
延回数合計		13,692	14,932	

- ・ 入所施設の開設に伴う利用者の減少や介護力の低下による入所やショートステイ利用が多くなっていることから目標達成には至らなかったが、障害者総合支援居宅介護及び移動支援については、目標を達成することができた。

(3) 訪問入浴介護事業

訪問入浴事業所では、要介護及び要支援認定の利用者に対し、看護師と介護員が訪問入浴車で訪問し持参した浴槽で入浴介護サービスの提供を行った。効率の良いサービス提供体制と料金の統一を行った。

<目標> 利用延回数 1,080回

	H25	H24
利用実人員	24	36
利用延回数	577	1,011

- ・ 利用者確保に努めたが、重度の要介護者の介護負担が大きく入所利用になったことやターミナルの新規利用者が利用後即入院となったことから激減した。

(4) 通所介護事業

通所介護事業所では、要介護状態となった場合においても、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減のため、巨瀬、川上、備中の小規模事業所において必要な日常生活の世話や機能訓練サービスの提供を行った。

- ① 日常生活支援、日常動作訓練等サービスを実施した。
- ② 備中デイサービス「通常規模型通所介護費」が「小規模型通所介護費」に改正した。
- ③ 備中デイサービスセンター指定管理施設の管理運営を行った。
- ④ 川上デイサービスセンター指定管理施設の管理運営を行った。

<目標>

	巨瀬	川上	備中	合計	H23実績
通所介護延回数	430	3,744	3,260	7,434	7,316
介護予防延回数	215	576	880	1,671	1,666
計	645	4,320	4,140	9,105	8,982

<実績>

		巨瀬	川上	備中	H25	H24
定員		20	25	30	75	75
開所日(週)		1	5	5		
開所日数		43	242	201	486	390
通所介護	利用実人数	11	60	65	136	136
	利用延人数	378	3,367	3,171	6,916	6,864
予防介護	利用実人数	7	13	24	44	51
	利用延人数	272	578	703	1,553	1,587
利用延人数計		650	3,945	3,874	8,469	8,451

- ・ 巨瀬 事業周知に努めるとともに、関係機関等と連携し、介護予防延回数については、目標を達成することができた。
- ・ 川上 9月に起きた大雨災害による通行止め等が影響し、目標達成には至らなかった。
- ・ 備中 1～2月にかけて、入所や入院のため利用者が減少した。また、ホールの修繕などが影響し目標達成には至らなかった。

(5) 共同生活介護事業

指定認知症対応型共同生活介護サービスの提供（ささゆり苑）

認知症であっても家庭的な環境と地域住民との交流も行いながら日常生活が営むことができるように日常生活の世話及び機能訓練を行った。また、定期的に看護師が訪問することにより、健康管理を行う体制の整備を行った。

<目標> 延利用者 3,186人

	H25	H24
定員	9	9
利用実人員	11	11
延利用者数	3,153	3,132

- ・ 日ごろから入居者の健康管理や転倒予防に努めたことから、入院が少なく、空床なく事業実施することができた。

1.1. 保健センター事業

予算額 2,318千円

執行額 2,280,150円 執行率 98.4%

川上保健センターの維持管理に努めた。

	H25		H24
	件数	延利用者数	延利用者数
健康相談、機能訓練等提供	17	504	912
子育て支援等交流事業実施	24	304	395
合計	41	808	1,307

1.2. シルバー人材センター事業

予算額 103,764千円

執行額 96,675,318円 執行率 93.2%

働く意欲のある高齢者に、知識や経験、技術を活かした臨時的かつ短期的な仕事、又はその他の軽易な仕事を提供し、生きがいと社会参加の促進を図った。

<目標> 登録会員数 290人 延就労人員 17,600人

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H25	H24
会員数	106	33	37	75	44	295	280
延受注件数	1,247	71	202	171	120	1,811	1,777
延就労人員	5,449	1,208	1,287	5,874	2,081	15,899	17,175

- ・ 会員数については、各種会議等で事業周知し、会員確保に努め目標達成することができた。また延就労人員については、効率的な作業実施に努めたことから減少したが、事業量は増加した。

(1) 作業区域の運用見直しによる効果的な運営

農繁期の草刈作業及び剪定、襖障子張り作業等特殊な作業について、従来からの本支所の作業範囲を超えての作業実施に向け研究と試行を行った。

(2) 職群班の円滑な運用

班長会を開催し、情報提供や情報の共有により円滑な職群班の運用を図った。

- ・ 平成26年3月4日(火) / 高梁総合福祉センター / 参加者28名

(3) 安全管理の推進

会員の安全就労に対する自己管理意識の高揚と安全適正就労の推進を図った。

- ① 安全・適正就労パトロールの実施 (岡山県シルバー人材センター連合会と共同実施)

<目標> 2回（平成24年度実績見込2回）

- ・平成25年6月24日（月）高梁地区
- ・平成25年12月20日（金）高梁地区
 - ・岡山県シルバー人材センター連合会との共同により安全・適正就労パトロールを実施し、目標を達成した。

② 危機管理講習会、安全・適正就業講習会の開催

<目標> 2回以上（平成24年度実績見込2回）

- ・平成25年5月27日（月）高梁総合文化会館／参加者74名

③ 安全講習会（草刈業務）

- ・平成26年2月20日（水）参加者47名
 - 高梁総合福祉センター 参加者31名
 - 成羽総合福祉センター 参加者16名
- ・危機管理及び安全・適正就業に努めるため講習会を2度開催し目標を達成した。

1.3. 総合福祉センター事業

予算額 24,194千円

執行額 23,270,787円 執行率 96.2%

高齢者、障害者等及び福祉団体、ボランティア団体等の活動拠点として、また、市民の方々の教養の場としての貸館業務の実施及び施設管理を行った。

① 高梁総合福祉センター管理運営（竣工 昭和51年3月20日）

② 成羽総合福祉センター管理運営（竣工 昭和59年3月20日）

	高梁	成羽	H25	H24
利用件数	1,299	336	1,635	1,704
延利用者数	25,031	13,173	38,204	35,883

- ・運営委員会の開催
施設の大規模修繕や今後の在り方等を検討し、適切な管理運営を図るため、高梁市総合福祉センター管理運営委員会を5回開催した。

1.4. 高齢者統合在宅支援事業

予算額 5,033千円

執行額 4,859,498円 執行率 96.6%

ほのぼの荘において、自宅での生活が困難な概ね65歳以上の一人暮らし及び虚弱老人が生活できる場の提供と施設の維持管理を行った。同様の他施設の開設に伴い、運営方法等の検討を行った。

部屋数等：5部屋、定員8人（2人部屋3室、1人部屋2室）

	H25	H24
定員	8	8
利用実人員	3	5
延利用者数	947	1,403

1. 理事会、評議員会等の各種会議の開催状況

(1) 正副会長会

第1回	平成25年	5月16日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人
第2回	平成25年	12月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人
第3回	平成26年	3月14日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人

(2) 理事会

第1回	平成25年	5月23日	高梁総合福祉センター	出席役員：15人
第2回	平成25年	7月3日	高梁総合福祉センター	出席役員：15人
第3回	平成25年	9月26日	高梁総合福祉センター	出席役員：15人
第4回	平成25年	12月18日	高梁総合福祉センター	出席役員：15人
第5回	平成26年	3月24日	高梁総合福祉センター	出席役員：15人

(3) 評議員会

第1回	平成25年	5月23日	高梁総合文化会館	出席役員：38人
第2回	平成25年	12月18日	高梁総合文化会館	出席役員：30人
第3回	平成26年	3月24日	高梁総合文化会館	出席役員：28人

(4) 委員会

・総務企画委員会

第1回	平成25年	5月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：22人
第2回	平成25年	12月5日	高梁総合福祉センター	出席役員：19人
第3回	平成26年	3月11日	高梁総合福祉センター	出席役員：19人

・社会福祉委員会

第1回	平成25年	5月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：22人
第2回	平成25年	12月4日	高梁総合福祉センター	出席役員：19人
第3回	平成26年	3月11日	高梁総合福祉センター	出席役員：21人

(5) 支会運営委員会

・高梁支会

第1回	平成25年	4月15日	高梁総合福祉センター	出席役員：13人
-----	-------	-------	------------	----------

・有漢支会

第1回	平成25年	4月25日	有漢保健センター	出席役員：6人
第2回	平成26年	3月7日	有漢保健センター	出席役員：6人

・成羽支会

第1回 平成25年 4月25日 成羽総合福祉センター 出席役員： 8人

・川上支会

第1回 平成25年 4月24日 川上保健センター 出席役員： 8人

第2回 平成26年 3月13日 川上保健センター 出席役員： 5人

・備中支会

第1回 平成25年 4月17日 高梁市備中郷土館 出席役員： 6人

第2回 平成26年 3月10日 高梁市備中郷土館 出席役員： 6人

(6) 役員（監事）研修

・福祉サービス苦情解決研修会

参加者 1名

期日：平成26年 2月24日

会場：岡山県総合福祉会館

・社会福祉役員セミナー

参加者 1名

期日：平成26年 3月 5日

会場：メルパルクOKAYAMA

2. 監事による監査

第1回 平成25年 5月10日 高梁総合福祉センター 出席監事： 3人

第2回 平成25年11月13日 高梁総合福祉センター 出席監事： 3人

3. 職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施状況

(1) 計画的な職員研修

① 専門研修

・接遇リーダー研修

参加者 3名

期日：平成25年5月（1日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・岡山県福祉職員生涯研修会（中堅コース）

参加者 3名

期日：平成25年6月（2日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・岡山県福祉職員生涯研修会（指導コース）

参加者 4名

期日：平成25年8、9月（2日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

- ・中国・四国都市社協連絡協議会 参加者 7名
期日：平成25年9月（2日間）
会場：サンビーチ岡山
- ・リスクマネジメント研修会（中堅コース） 参加者 5名
期日：平成25年10月（1日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・リスクマネジメント研修会（管理コース） 参加者 3名
期日：平成25年10月（1日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・コーチング研修会 参加者 3名
期日：平成25年10月（2日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・岡山県総合社会福祉大会 参加者 1名
期日：平成25年10月（1日間）
会場：岡山市民会館
- ・全国社会福祉大会 参加者 1名
期日：平成25年11月（1日間）
会場：日比谷公会堂（東京都）
- ・相談援助技術研修（基礎コース） 参加者 2名
期日：平成25年11月（1日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・介護職員指導技術研修 参加者 1名
期日：平成26年1月（2日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・岡山県福祉職員生涯研修会（管理コース） 参加者 2名
期日：平成26年2月（2日間）
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

②内部研修

- ・社協職員内部研修会 参加者 職員45名
実施 平成26年2月15日（土） 高梁総合福祉センター大講座室
福祉サービスに従事する職員の資質向上をはかるため

③内部指導監査の実施

関係法令及び経理規程に基づく会計処理、前年度の指導事項の改善状況について行った。特に、職員サービス手続、事業計画の推進状況、未収金、未払金の処理等出納処理状況、各種支払いに係る経理に重点を置いて実施した。

実施日：平成25年9月17日 川上支所

9月18日 巨瀬デイサービス及び介護保険課

9月19日 有漢支所及び成羽支所

9月20日 備中支所

9月24日 地域福祉課

9月25日 総務課、地域福祉課及びささゆり苑